

CSV そのまま Excel 操作マニュアル

本マニュアルは、CSV そのまま Excel を初めて使う方向けの操作説明書です。

1. ツール概要

CSV そのまま Excel は、CSV / TSV ファイルを Excel で開ける .xlsx ファイルへ一括変換する Windows 向け GUI ツールです。

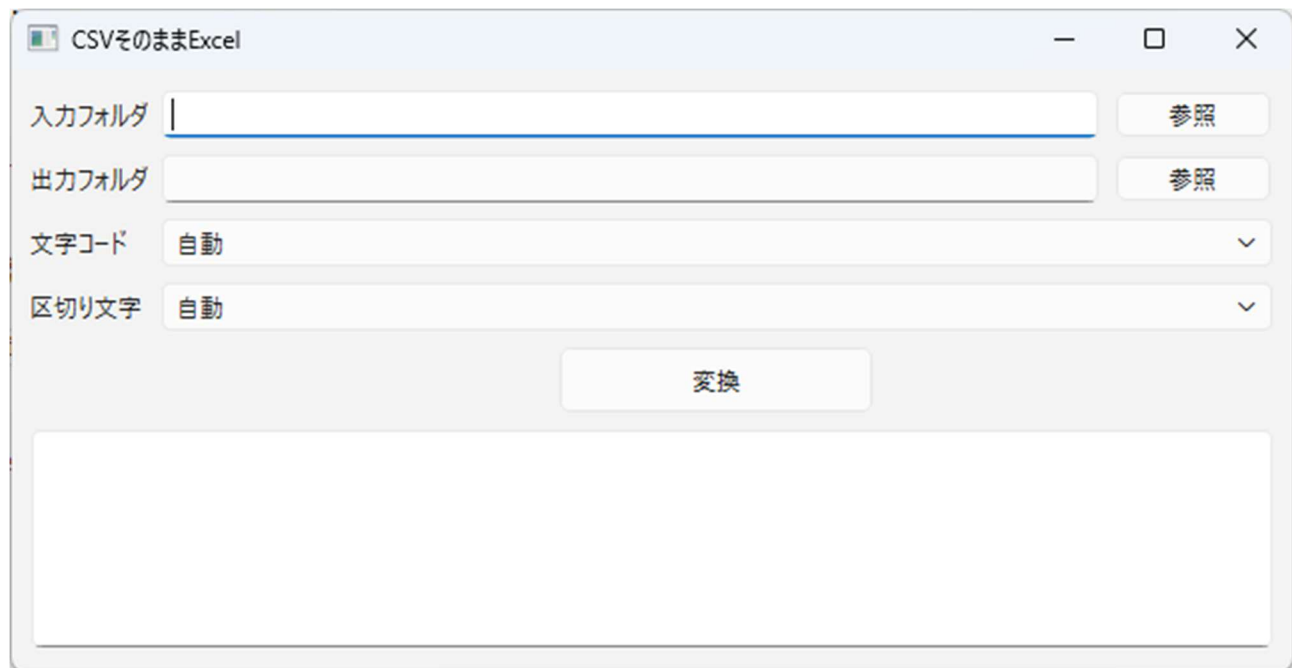
Excel が値を自動変換してしまうことを避け、元データを文字列として保持したまま出力します。

- 001 を 1 にしない
- 000123 を 123 にしない
- 20260518 を日付化しない
- 1-2 を日付化しない
- 長い数字を指数表記にしない

2. 起動と画面全体

ZIP を展開後、CSVSonomamaExcel.bat を起動します。

起動すると、タイトルに CSV そのまま Excel と表示された下記の画面が表示されます。



The screenshot shows a Windows application window titled "CSVそのままExcel". The window has a standard Windows title bar with minimize, maximize, and close buttons. The main interface consists of several input fields and buttons. At the top, there are two input fields labeled "入力フォルダ" (Input Folder) and "出力フォルダ" (Output Folder), each followed by a "参照" (Reference) button. Below these are two dropdown menus labeled "文字コード" (Text Code) and "区切り文字" (Delimiter), both currently set to "自動" (Automatic). In the center, there is a large "変換" (Convert) button. At the bottom, there is a large, empty rectangular area, likely for displaying the results or logs.

画面は主に次の領域で構成されています。

- 入力フォルダ
- 出力フォルダ
- 文字コード
- 区切り文字
- 変換ボタン
- ログ表示

3. 基本操作の流れ

初回は次の順番に進めてください。

1. 入力フォルダ の 参照 を押し、CSV / TSV が入ったフォルダを選ぶ
2. 出力フォルダ の 参照 を押し、.xlsx の保存先フォルダを選ぶ
3. 文字コード を選ぶ（通常は 自動）
4. 区切り文字 を選ぶ（通常は 自動）
5. 変換 を押す
6. 確認ダイアログの内容を確認し、問題なければ はい を押す
7. 完了ダイアログとログ表示で成功 / スキップ / 失敗件数を確認する
8. 出力フォルダの .xlsx と log/app.log を確認する

4. 各項目の説明

4.1 入力フォルダ

変換したい CSV / TSV が入ったフォルダを指定します。

- 対象は入力フォルダ直下の `.csv` / `.tsv` のみです
- 拡張子の大小文字は区別しません
- サブフォルダ内のファイルは対象外です
- `.txt` など対象外ファイルは無視されます

4.2 出力フォルダ

変換後の `.xlsx` を保存するフォルダを指定します。

- 入力フォルダと同じ場所は指定できません
- 出力フォルダは事前に作成しておいてください
- 入力ファイル名の拡張子を `.xlsx` に変えて保存します
- 同名の `.xlsx` がある場合は上書きされます

4.3 文字コード

CSV / TSV 読み込み時の文字コードを選びます。

対応候補:

- 自動
- UTF-8 BOM
- UTF-8
- CP932
- Shift_JIS

通常は 自動 のままで問題ありません。

文字化けや読み込み失敗がある場合は、文字コードを明示指定して再実行してください。

4.4 区切り文字

CSV / TSV の区切り文字を選びます。

対応候補:

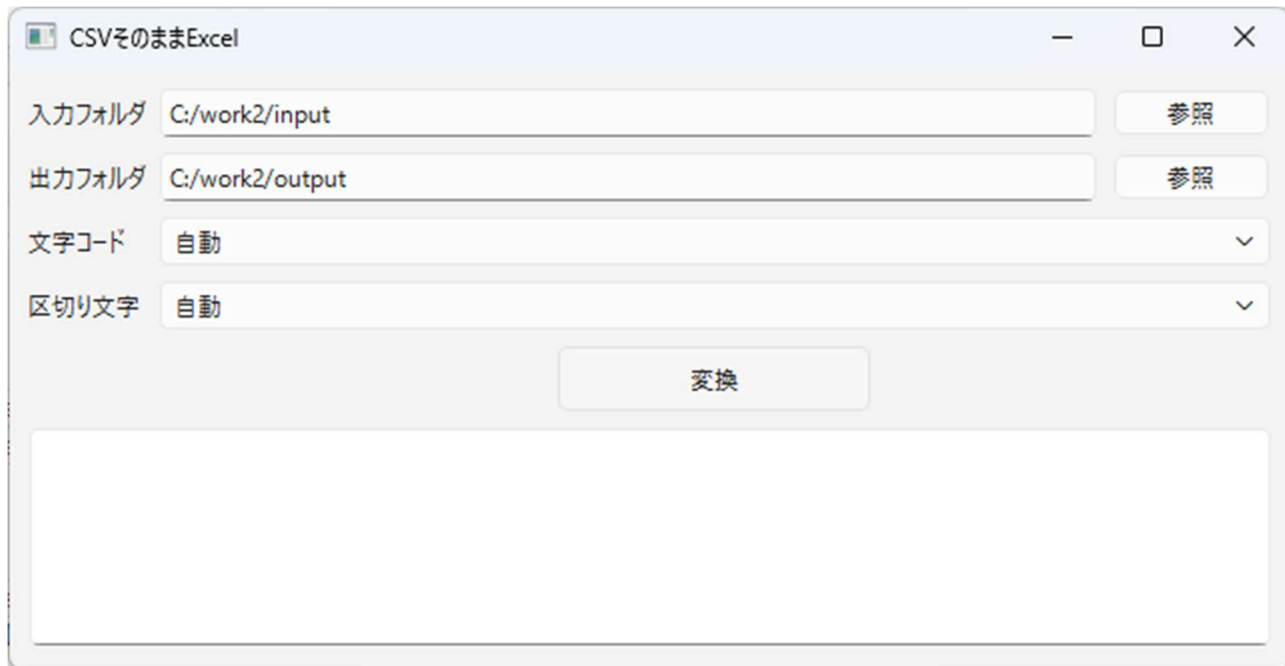
- 自動
- カンマ
- タブ

自動 の場合、`.csv` はカンマ、`.tsv` はタブとして読み込みます。

拡張子と中身が一致していないファイルは、カンマ または タブ を明示指定してください。

5. 変換の実行

入力フォルダ、出力フォルダ、文字コード、区切り文字を確認してから **変換** を押します。



The screenshot shows a Windows-style dialog box titled "CSVそのままExcel". It has four input fields: "入力フォルダ" with the value "C:/work2/input", "出力フォルダ" with "C:/work2/output", "文字コード" with a dropdown menu showing "自動", and "区切り文字" with a dropdown menu showing "自動". To the right of the first two fields are buttons labeled "参照". At the bottom center is a button labeled "変換". Below the "変換" button is a large empty rectangular area.

実行前に確認ダイアログが表示されます。

- 入力フォルダ
- 出力フォルダ
- 文字コード
- 区切り文字

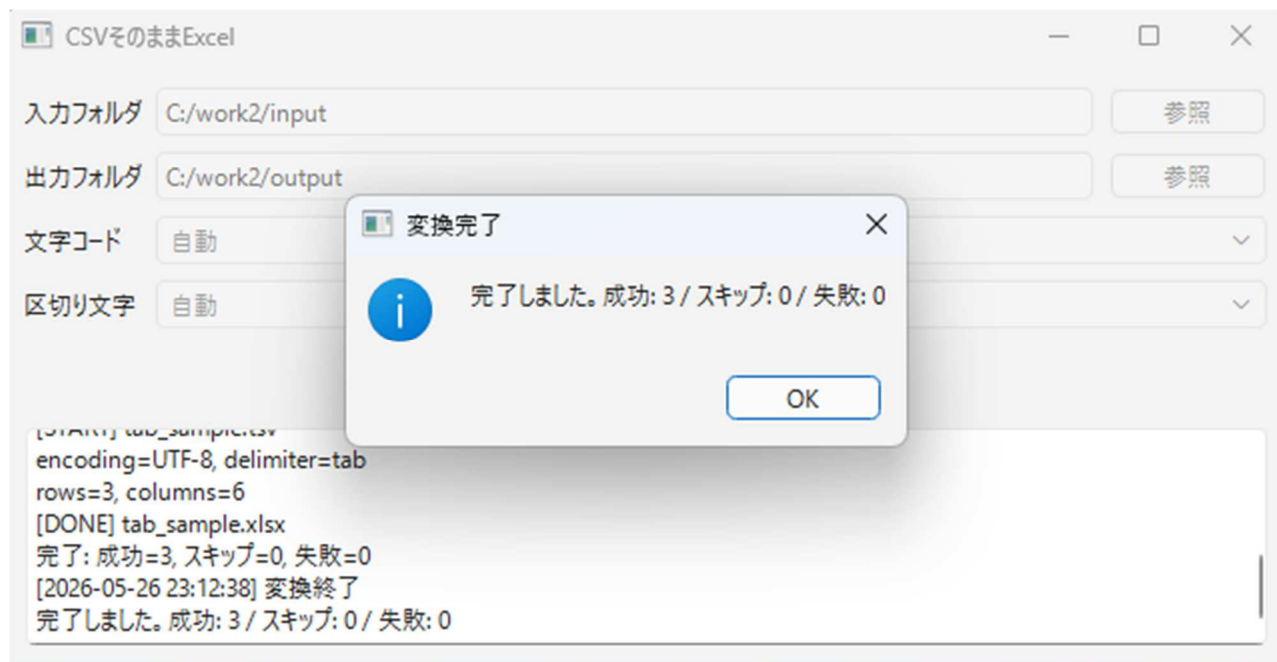
内容に問題がなければ **はい** を押してください。中止する場合は **いいえ** を押します。

変換中は画面の操作項目が一時的に無効になります。処理が終わるまで待ってください。

処理が完了すると、ログ表示に次のような情報が表示されます。

- 変換開始時刻
- 処理したファイル名
- 確定した文字コード
- 確定した区切り文字
- 行数 / 列数
- 変換終了時刻
- 成功 / スキップ / 失敗 件数

完了時には完了ダイアログも表示されます。成功 / スキップ / 失敗 件数を確認してください。



6. 出力ファイルとログ

6.1 出力ファイル

出力フォルダに、入力ファイルごとの `.xlsx` が作成されます。

例:

- `sample.csv -> sample.xlsx`
- `data.tsv -> data.xlsx`

出力される Excel ファイルは、すべてのセルを文字列として書き込みます。

6.2 ログ

ログは画面下部と `log/app.log` に出力されます。

画面下部のログ欄は、必要な範囲を選択してコピーできます。

エラーやスキップがある場合は、画面ログと `log/app.log` の両方を確認してください。

7. よくある確認ポイント

対象ファイルがありません と表示される

- 入力フォルダ直下に .csv または .tsv があるか確認してください
- サブフォルダ内のファイルは対象外です
- 対象外ファイルだけのフォルダは処理されません

入力フォルダと出力フォルダは別にしてください と表示される

- 入力フォルダとは別の保存先フォルダを指定してください

文字コードを判定できませんでした と表示される

- 文字コードを 自動 以外に切り替えて再実行してください
- 対応外の文字コードや破損ファイルの可能性があります

空ファイルのためスキップしました と表示される

- 中身がない CSV / TSV は出力されません

Excel で開いたときの見た目が整っていない

- 本ツールは値を変えずに .xlsx 化することを優先しています
- ヘッダー色、罫線、列幅自動調整などの見た目整形は行いません

変換後の値を計算に使えない

- セルは文字列として出力されます
- Excel 上で計算や集計を行う場合は、必要な列を利用者側で数値形式に変換してください